

船舶事故調査報告書

令和3年8月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	令和3年1月28日 15時18分ごろ
発生場所	新潟県上越市直江津港 直江津港導流堤北灯台から真方位126°830m付近 (概位 北緯37°11.0′ 東経138°15.1′)
事故の概要	貨物船GUO MAO 1は、港内操船中、係留中のカーフェリーときわ丸に衝突した。
事故調査の経過	令和3年2月1日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A カーフェリー ときわ丸、5,380トン 142022、佐渡汽船株式会社 B 貨物船 GUO MAO 1（トーゴ共和国籍）、2,998トン 8656960（IMO番号）、LUZONGQUANDENG SIREN
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級（航海） B 船長B（ベトナム社会主義共和国籍）、締約国資格受有者承認証
負傷者	A なし B なし
損傷	A 右舷船尾外板に亀裂を伴う凹損等 B 船首部に凹損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	A船は、船長Aほか25人が乗り組み、船首を南西に向けて左舷付けで係留中、作業員7人が乗船し、船舶整備作業を行っていたところ、B船が衝突した。 B船は、船長Bほか12人（ベトナム社会主義共和国籍10人、中華人民共和国籍2人）が乗り組み、船長Bが、A船の右舷船首方に位置する係留予定の岸壁に右回頭で着岸するつもりで直江津港に入航した。 B船は、着岸予定時刻から遅れていたため、船長Bが、過大な速力で航行したところ、思うように減速できず、右回頭を行えないまま、直進し、緊急投錨を行ったものの、前路のA船の船尾部にB船の船首部が衝突した。
分析	A船は、係留中、B船が衝突したものと考えられる。 B船は、着岸予定時刻が遅れていた中、着岸操船中、船長Bが、過大な速力で航行していたことから、減速できず、前路に係留中のA船に衝突したものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、B船が、着岸予定時刻が遅れていた中、着岸操船中、船長Bが過大な速力で航行していたため、減速できず、前路に係留中のA船に衝突したものと考えられる。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 船長は、着岸操船時、十分減速すること。